

6月例会のセリ会について

多摩虫恒例、年2回のセリ、夏の部が6月19日（火）に開かれます。標本、生き虫、書籍、虫グッズ、食草等の“なんでもセリ会”です。毎年夏の部はシーズン最中ということもあり、12月に比べてやや低調気味ではありますが、楽しくやりましょう！本年は新たに次の2つの新企画を加えます。

①希望の品を募ります！！

セリは出品者に何を出すかが任されるものですが、むしろこんなものをお願いしやすという形で、希望を募る試みも面白いのではないのでしょうか。もちろん希望に完全に沿えるかどうかは保証の限りではありませんが、やってみましょう。生ものを出して欲しい、こんな種の標本を出して欲しい、などML上でどんどん希望を出してみるのはいかがでしょう。もちろん希望した人が落札できるかどうかは分かりません。6月上旬くらいまでにML上でどしどし流してください！

②標本や昆虫関連グッズ外にちょっと逸脱してみましよう！

蝶・昆虫に関係のないものでも、人が欲しがりそうな面白いものであれば出品可とします。要領は、ほぼ前回同様ですが、希望の品についてはML上でどんどん流してください。出品は事前届出制です。下記事例リストを参考に、6月14日（木）までに企画役員宛に出品物の連絡とし、100円単位で以下の例のように作成をお願いします。

多数の出品をお待ちしております、何卒宜しくご協力ください。

1 / 多摩虫男性/オオムラサキ/京都府加茂郡/飼育・展翅品・スギタニ型 / 1♂ / ¥500

2 / 多摩虫女性/牧野植物図鑑 / 絶版で入手困難、程度良好 / 上下1冊組 / ¥12000

3 / 多摩虫男性/デジタルカメラ、ソニー / 1台 / ¥2000

- ・ 出品点数は原則4点/1人を上限とします。（会場借用時間の関係から総点数80～90点を考えています）但し、時間に余裕があれば、それ以上の品もセリに掛けますので、5点以上出品したい方は出品物に優先順に番号を付けてください。
- ・ 展翅標本出品の場合、必ず個別容器に入れ、そのまま落札者に引き渡せるような工夫をお願い致します。
- ・ 出品物リストはMLで事前に、及び当日印刷物で配布します
- ・ その他、複数出品の落札ルール等、セリのルールは、当日説明致します
- ・ また、落札金額の20%は、「多摩虫」の今後の発展・促進のために寄付していただきますので何卒宜しくご了承ください。

企画幹事（届出及び連絡先）

北川; kitagawa.atoc@h6.dion.ne.jp 0422-55-4190
 仲西; guizumo@jcom.home.ne.jp 03-3397-5412
 早坂; kouji-h@c3-net.ne.jp 045-823-4430
 小柴; koshibakiyoyuki@yahoo.co.jp 042-327-4321

* 退会 (3名)

笹川忠志 植本雅治 横田千佳

* 新入会員 (宜しくお願ひいたします)

宮本裕臣 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町 3-4-5 T:0422-22-2936 携:090-6924-0960

* 変更 (ご訂正ください)

小出雄一 T&F:0278-22-3431 携:090-1652-7251

* お知らせ

またまた例会日の変更です。11月例会は市の行事のため全室ふさがり使用不可です。したがって第4火曜日の11/27としました。変更が続き大変申し分けないのですが、お間違いのないよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。

車よりチョウが優先

【台北・石井利尚】台湾の交通部(交通省に相当)は、越冬を終えて集団で移動するチョウを保護するため、飛来ルートにあたる高速道路の一部を通行規制することを決めた。チョウを保護するための交通規制は世界でも珍しいという。保護対象となるのは、台湾でも珍しいという。上の飛来が観察された場

台湾で高速道路規制

交通部は、中部の雲林県で高速道路上を横断する。このため、飛来がピークを迎える4月初旬、1分間に2000匹以上の飛来を観察された場

【台北・石井利尚】台湾の交通部(交通省に相当)は、越冬を終えて集団で移動するチョウを保護するため、飛来ルートにあたる高速道路の一部を通行規制することを決めた。チョウを保護するための交通規制は世界でも珍しいという。保護対象となるのは、台湾でも珍しいという。上の飛来が観察された場

1分間に約1万匹、1日100万匹の飛来を観察され、車と衝突して死ぬチョウが少なくないことから、チョウの生存率を高めるため、異例の規制に乗り出した。

羽化

昆虫が、幼虫やサナギから成虫になること。脱皮して羽を広げるため、こう呼ばれる。春にはチョウチョが羽化するが、今年は暖冬の影響で時期が早まっている。モンシロチョウの初見日を調べている気象庁によると、大阪では平年より41日早い2月21日に確認され、福島や金沢でも10日ほど早い3月末に確認された。チョウチョの羽化の観察を1学期の理科の授業に取り入れる小学校も多い。サナギを冷蔵して羽化の時期を調整し、授業中に白熱灯で温めると、15分~30分で成虫になる。

松伯美術館花鳥画展

大賞に長田さん「花奪い」



長田佳子さん

若手日本画家の育成を旨とする松伯美術館（奈良市）の公募展「第13回松伯美術館花鳥画展」（近畿日本鉄道、読売新聞大阪本社主催）の入選作が発表され、台東区上野桜木1、長田佳子さんの「花奪い」が写真展（23）の「花奪い」で写真展が最高の大賞に輝いた。

「初めて公募展に応募して、まさかいきなり大賞を取れるとは思いませんでした」と驚きを隠さない。

「繊細な美」だったと評されたが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

受賞作品の「花奪い」は、上野・寛永寺で8匹の子ヨウがスイフヨウの花を奪い合っている様子を描いた。

卒業後は、身近な自然に目が向いた。人間が一人一人違うように、同じ種類の草花でもまったく形が違い、人間と同じように魅力を感じるようになった。

岐阜県郡上市の長滝白山神社で毎年正月、「福」を求めて花がさを奪い合う行事「花奪い」が行われているのを新聞で知った。スイフヨウの花言葉が「富貴」

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

文京区で生まれたが、父親の仕事の関係で7歳まで仏・パリで生活。絵を描くことが自然な街の雰囲気、自宅によく

筆を持ち続け、東京芸術大絵画科に進んで油画を専攻した。

大学時代は、テンペラ画を中心に学び、人体や動物

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。

を題材に選ぶことが多かったが、4年時に和紙に描かれた平家納経を見て感懐し、和紙を使って作品を描くようになった。



スweifヨウ求め チョウの舞

昨年3月から、寛永寺や上野公園、自宅近くでひたすらデッサンし続けた。何か集大成となる作品をと思いい、120号の和紙に描き上げたのが今回の応募作品だ。「これからも和紙を使う。」

ていろんなものを表現していききたい」と自分の作品の幅を広げる意欲に満ちている。

07.2.6 読売

まちかど

四季子 廿月歩

菅野 徹

「間もなくキジバトの雄による、愛のささやきを聞くことができるだろう」と、前回2月8日のこの欄で書いた。思い切り太い弦をはじくような、「サン」といふ不思議な声だ。

2月22日、私にとって、いつも一緒だ。ほどなく巢作りに入るだろう。その日の一週間ほど前の2月16日も、暖かな日差しが辺りを包む穏やかな日だった。

屋近く、冬枯れの雑木林の脇を青白い点がちらちらと横浜の自宅周りの観察で

26日にはモンシロチョウが飛んでいた。この27年間のメモでは、2月にチョウが現れたのはこの3回だけ。今年のは、新記録になる。普通は3月にならなければ、越冬種以外のチョウには出あえぬもので、今年の暖冬は並外れている。

ルリシジミは、ユーラシア大陸と北米に広く分布し、日本でもごく普通にいます。日本に「シジミ」の名のつくチョウは、シジミチョウ科の72種。

青い宝石 早くも舞う

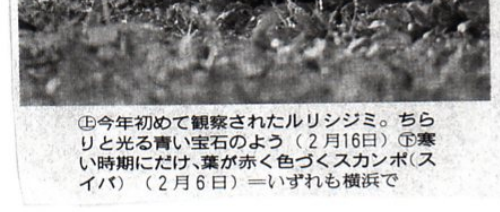
07.3.10 読

早くもチョウの飛び始めた雑木林の近くに、冬枯れの原っぱが広がる。そこに赤を点じているのはスカンボ(スイバ)の葉。寒いうちは地面に低く張り付いているが、暖かくなると背を伸ばし全体が緑に変わる。(生物エッセイスト)写真も。毎月1回掲載します)

今年初の「ウン」を聞いた。キジバトのペアが、10分ほど先の木の枝に並んでいて、雄が「サン」と鳴いた。しかし雌はずっと飛び去り、残された雄は、やむを得ずそのうちに「チッチッ ポッポウ」といじやっていた。春のよくな日の屋近くなかった。

午後遅く、同じ場所に行く。先ほどの羽とおぼしきキジバトが、砂利道で仲良く餌をついはんでいた。雌は、雄を袖にしたのではなく、近づきすぎた私を避けて逃げただけだったらしい。キジバトの夫婦は、

飛ぶのを見た。目で追って、ササの葉に、キラリと、青い宝石が止まった。ルリシジミとモンシロチョウが飛んだ。2年前の2月



①今年初めて観察されたルリシジミ。ちらりと光る青い宝石のよう(2月16日)②寒い時期にだけ、葉が赤く色づくスカンボ(スイバ)(2月6日)＝いずれも横浜で